

目次

序文

元歩兵第二百十六聯隊

大隊長 山口新三

戦史発刊によせて

兵庫県多紀郡篠山町

町長 藤井正一

慰霊塔 碑文

供養塔 碑文

歩兵第二百十六聯隊隊歌

凡例

はじめに

歩兵第二百十六聯隊慰霊碑設立委員会

委員長 辻 武夫

部一部 支那事変

歩兵第二一六連隊の誕生と出征……………三

中支戦場への征途……………七

湖北前線へ……………一一

湖北の戦い……………一六

白宗付近の戦鬪……………一六

湖北駐留……………二四

南昌移駐と撫河の対陣……………三二

冬季攻勢撃滅作戦……………三七

第一次攻勢……………四〇

第二次攻勢……………四八

南昌前面……………四八

第六・第七号作戦……………五一

宜昌作戦……………五一

第一期 炎臺下 死の行軍……………五九

付 陣中日記……………六〇

第二期 沙市への進撃……………六六

文昌堂の戦鬪……………六六

夏季攻勢撃滅作戦……………八一

沙市駐留……………一三一

南昌前面……………一三八

第十・第十一号作戦……………一三一

第十二号作戦……………一四一

予南作戦……………一四四

沔陽進駐……………一五二

内田兵団長の思い出……………一五五

能島武繁・田中一三

第十三号作戦	一五八
第一次錦江作戦(十四号作戦)	一五九
上高への進撃	一五九
土地廟王への反転	一六七
楊公墟の悲劇	一七三
陶家埧付近の戦闘	一八〇
安義の対陣と南方作戦準備	一八七
沔陽地区の対戦	一九四

第二部 大東亜戦争

第二次長沙作戦の背景	二〇一
第二次錦江作戦	二〇三
沙湖鎮の戦い	二〇九
沔陽作戦	二一一
浙贛作戦	二一二
第十九号作戦の中止	二二二
第十三軍方面における第二大隊の戦い	二二七
烏溪江への進撃	二二七
衢州の会戦	二二八
江山の駐留	二三一

反転作戦	二三二
第三大隊の岳州陽動作戦	二三四
第十一軍方面における第一大隊の戦いと第三大隊の追及	二三六
鷹潭・貴溪攻略戦と貴溪・鷹潭駐留	二四〇
反転作戦	二四六
安義並びに永修の警備	二四八
江北殲滅作戦	二五三
江南殲滅作戦	二五六
洞庭湖へ	二五六
湖上の機動と南泉の攻略	二五九
三仙湖の戦闘	二六三
入来支隊の活躍	二六八
揚子江打開作戦と安義帰還	二七〇
常德作戦を前に	二七三
常德殲滅作戦	二七六
佐々木支隊の霧気河進出	二七六
王家廠南西地区への突進	二七八
新関付近の殲滅戦	二八〇
龍潭河への推進	二八五

慈利周辺の戦闘	二九二
反転作戦	二九六
付・佐々木連隊長の思い出	二九九
大陸縦貫作戦の序曲	三〇一
「征」「福」両部隊の編成と石川連隊長の着任	三〇一
軍の作戦準備	三〇四
湘桂作戦	三一一
長沙への進撃	三一一
岳麓山の攻略	三一一
坂谷正勝	三一一
甲兵站線の構築援助	四〇四
蓮花南西地区への突進	四〇九
常寧県城の攻略	四二二
篠田恭一	四二二
全県への行軍	四五四
第一大隊の桂柳地区突進と連隊主力の全県周辺の戦闘	四五九
廣西駐留	四六九
湘西作戦	四七六
桂湘反転作戦	四八五
軍旗奉焼による奉還	四九一
集中営と連隊の復員	四九四
第五兵站勤務隊	五〇三
歩兵第七〇連隊と第一七〇連隊に就て	五〇八
おわりに	五〇九
前田寿治	五〇九

第三部 鎮 魂

慰霊碑建立を省みて	島田高義	五一五
慰霊碑・供養塔奉納死歿者名		五一九
慰霊碑建立実行委員会		五三七
供養塔建立実行委員会		五三七
本部及び各中隊会連絡先		五三八
戦史資料提供者芳名		五四〇
参考文献並びに引用文献		五四二

参考並びに引用文献 (略敬称)

工兵三四連隊、第三四師團工兵隊

「関係資料」

十二樁会誌「雑纂」

「赤土の下に」

「死守」 大江隊 戦闘日記

「椿華」 椿八会編

「ヤンツ」 奥本 実、安田儀一郎 編

「天と泥」 上・下巻 坂谷 正勝

「軍旗中支を征く」第二一七連隊史

「軍旗燃ゆ」

「近代の戦争5・6・7・8」

「大太平洋戦争への道3・4」

「秘録大東亜戦争」

「大本営発表の真相史」

「毎日新聞記事」

「大東亜戦争全史 第一卷―四卷」

「抗日戦の記録」

「蔣介石秘録 12―15」

「岡村寧次大将資料」

「第十一軍高級参謀井本熊男回想」

「戦いの記録」

「支那事変の回想」

「従軍の想い出 上・下」

第五中隊 小林 春一

有田 正雄

福田 又雄

五味 康祐

人物往来社

朝日新聞社

富士書苑

自由国民社

毎日新聞社

鱒書房

平凡社

サンケイ新聞社

原書房

静岡新聞社

静岡新聞社

みすず書房

従軍回顧録刊行会

第六八師団独歩第一二五大隊史(編集集中)

「支那事変の榮」

「戦争回顧録・常寧の攻撃」

「戦争回顧録・岳麓山の攻撃」

「36万人の進撃」

「華中戦記」

「国防 四月号」

「終戦記録」

「帝国陸軍の最後」

「揚子江のほとり」

「大本営陸軍部(2)―(10)」 「支那事変陸軍作戦(2)―(3)」

「中国方面海軍作戦(2)」 「中国方面陸軍航空作戦」 「昭和十七・八年の支那派遣軍」 「香港・長沙作戦」 「河南の会戦」

「湖南の会戦」 「広西の会戦」 「昭和二十年の支那派遣軍(1) (2)」 何れも防衛庁防衛研修所戦史室編

朝雲新聞社

恤兵部

篠田 恭一

篠田 恭一

政治科学センター

図書出版社

朝雲新聞社

読売新聞社

文芸春秋社

大阪府歯科医師会誌

歩兵第二百十六聯隊戦史

昭和五十二年九月十日 印刷

昭和五十二年九月十五日 発行

大阪市天王寺区細工谷町

東和書林内

発行所 歩兵第二百十六聯隊
戦史編集委員会

発行人 辻 武夫

印刷 大阪高速印刷(株)

© 1977